

# 「被ばくを避け健康を享受することは、基本的人権です」

— 森松明希子さんに聞く、避難の権利。命を守ることにためらう社会って、おかしくない？ —



森松明希子（もりまつ・あきこ）さん

2011年3月11日、福島県郡山市在住中に東日本大震災に被災、0歳と3歳の2児を連れて同年5月に大阪市へ母子避難。原発賠償関西訴訟原告団代表・原発被害者訴訟原告団全国連絡会共同代表を務める。また、東日本大震災避難者の会 Thanks & Dream (サンドリ) を主宰、国連や国会などで 精力的に避難者の声を発し続けている。2018年3月19日、スイス・ジュネーブの国連人権理事会にてスピーチ↓  
[2019年10月31日「黒田裕子賞」受賞 \(http://goo.gl/Y7z72s\)](http://goo.gl/Y7z72s)  
帰国後、7月11日、参議院東日本大震災復興特別委員会にて参考人として陳述。



日時 7/24 (土) 19~21 時

ZOOM 申し込み↓

[onukesqa@gmail.com](mailto:onukesqa@gmail.com)

申込締切 7/24、18時

## 災害からの命の守り方—私が避難できたわけ—

【<大枠の>目次】

- 序章 あの時、福島に何が起こったのか
- 第1章 命の重さ
- 第2章 3.11 東日本大震災発生
- 第3章 3人の母親—あなたなら、どうする？
- 第4章 ある日突然マイノリティ
- 第5章 先入観を打ち破れ！—スマホで探すな
- 第6章 あなたは「避難者」になれますか？
- 第7章 守られない子どもたち—「原発いじめ」の正体
- 第8章 逃げることは権利だ！
- 第9章 ある日、突然国連へ
- 第10章 自分の頭で考えることが最高の危機管理
- 第11章 言論の封じ方
- 終章 3.11 福島から新型コロナウイルス感染症まで

この機会に、  
森松明希子さんと著書の感想や質問を交換しましょう



主催 / Hope&Action (事務局・木村)